【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-502361(P2004-502361A)
【公表日】平成16年1月22日(2004.1.22)
【年通号数】公開・登録公報2004-003
【出願番号】特願2002-505537(P2002-505537)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｌ　12/56
　Ｈ０４Ｑ　 7/36
　Ｈ０４Ｑ　 7/38
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｌ　12/56　　２００Ｚ
　Ｈ０４Ｂ　 7/26　　１０９Ａ
　Ｈ０４Ｂ　 7/26　　１０５Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成16年12月27日(2004.12.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
　【請求項１】　端末と、無線ベアラのリソースを規定するために動作エンティティが規定される固定ネットワークと、を有するパケット交換通信システムにおいてデータ伝送リソースを割当てる方法であって、前記の無線ベアラのリソースが、前記無線ベアラ上で前記端末により使用されるアプリケーションに基づいて該端末に対して規定される前記方法において、
　前記無線ベアラで使用されるデータパケット中のヘッダ部の圧縮方法を、前記無線ベアラのリソースを規定する前に規定し、
　前記無線ベアラのリソースを、その選択されたデータパケット中のヘッダ部の圧縮方法によって必要とされる容量を含むようなやり方で規定する、
　ことを特徴とする方法。
　【請求項２】　前記端末によりサポートされる、データパケット中の前記ヘッダ部の圧縮方法を、使用すべき圧縮方法を規定するために、固定ネットワークにおける動作可能なエンティティに転送することを特徴とする請求項１に記載の方法。
　【請求項３】　双方向接続を必要とする前記選択されたデータパケット中のヘッダ部の圧縮方法に応答して、前記無線ベアラに双方向の容量を規定することを特徴とする請求項１または２に記載の方法。
　【請求項４】　前記パケット交換通信システムがUMTSシステムであり、前記無線ベアラ用のリソースを規定する前記動作エンティティが、無線リソース制御プロトコル（RRC）及び無線リソース管理システム（RRM）から構成されていることを特徴とする請求項１～３のいずれか一項に記載の方法。
　【請求項５】　前記無線リソース管理システム（RRM）において前記無線ベアラのリソースを規定することを特徴とする請求項４に記載の方法。
　【請求項６】　前記の規定された無線ベアラのリソースを、該無線ベアラの無線リソースを割当てる前記無線リソース制御プロトコル（RRC）に転送することを特徴とする請求項５に記載の方法。

【請求項７】　前記端末のコンバージェンスプロトコル（PDCP）がサポートする、前記のデータパケット中のヘッダ部の圧縮方法を、使用すべき圧縮方法を規定するために無線ネットワーク制御装置（RNC）に伝送することを特徴とする請求項４～６のいずれか一項に記載の方法。

【請求項８】　端末と、無線ベアラのリソースを規定する動作エンティティを有する固定ネットワークとを有するパケット交換通信システムであって、前記無線ベアラのリソースが該無線ベアラ上で前記端末が使用するアプリケーションに基づいて規定されるようになっている前記パケット交換通信システムにおいて、

前記無線ベアラのリソースが規定される前に前記無線ベアラで使用される前記データパケット中のヘッダ部の圧縮方法が規定されるようになっており、

前記無線ベアラのリソースが、その選択されたデータパケット中のヘッダ部の圧縮方法によって必要とされる容量をも含むようなやり方で規定されるようになっている、

ことを特徴とするパケット交換通信システム。

【請求項９】　前記端末がサポートする前記データパケット中のヘッダ部の圧縮方法が使用すべき圧縮方法を規定するために前記固定ネットワークの前記動作エンティティに伝送されるようになっていることを特徴とする請求項８に記載の通信システム。

【請求項１０】　前記パケット交換通信システムがUMTSシステムであり、前記無線ベアラのリソースを規定する前記動作エンティティが、無線リソース制御プロトコル（RRC）及び無線リソース管理システム（RRM）を有することを特徴とする請求項８又は９に記載の通信システム。

【請求項１１】　パケット交換通信システムのネットワーク構成要素であって、該ネットワーク構成要素は無線ベアラのリソースを規定する動作エンティティを備え、

前記無線ベアラで使用されるデータパケット中のヘッダ部の圧縮方法を規定し、

前記無線ベアラで端末によって使用されるアプリケーションに基づいて前記無線ベアラのリソースを規定し、

選択されたデータパケット中のヘッダ部の圧縮方法が必要とする容量に従って前記無線ベアラのリソースの規定を制御するようになっているネットワーク構成要素。

【請求項１２】　前記ネットワーク構成要素が、双方向接続を必要とする前記選択されたデータパケット中のヘッダ部の圧縮方法に応じて前記無線ベアラの双方向の容量を規定するようにさらになっている請求項１１に記載のネットワーク構成要素。

【請求項１３】　前記ネットワーク構成要素が、無線リソース制御プロトコルと、前記無線ベアラのリソースを規定する動作エンティティとして無線リソース管理システムとを備える請求項１１に記載のネットワーク構成要素。

【請求項１４】　前記無線リソース管理システムが前記無線ベアラのリソースを規定するようになっている請求項１３に記載のネットワーク構成要素。

【請求項１５】　前記無線リソース管理システムが規定された前記無線ベアラのリソースを前記無線リソース制御プロトコルに送信するようになっており、該無線リソース制御プロトコルが前記無線ベアラの無線リソースを割り当てる請求項１４に記載のネットワーク構成要素。

【請求項１６】　パケット交換通信システムの端末であって、該端末は該パケット交換通信システムのネットワークから無線ベアラのリソースを要求できる少なくとも１つのアプリケーションを備え、

前記端末がサポートするデータパケット中のヘッダ部の圧縮方法に関する情報を前記ネットワークに送信し、

前記ネットワークによって規定された無線ベアラのリソースの構成に従って前記少なくとも１つのアプリケーションのデータ伝送を実行するようになっており、これにより前記無線ベアラのリソースの規定が、選択されたヘッダ圧縮方法によって必要とされる容量に応じて制御される端末。